

地域との協働による高等学校教育改革推進事業
(グローバル型)

長野県長野高等学校 実践報告

令和元年6月28日

長野県長野高等学校
教頭 腰原 智達

本日の報告内容

①SGHからNGPへ

②どんな人材を育てたいのか

③実践例の報告

～協働による教育プログラム開発～

①SGHからNGPへ

(校内での呼称)

2014年4月～2019年3月

観光を核にした国際都市NAGANOを担う グローバルリーダーの育成

- 海外での学び 台湾研修・米国リーダー研修
- 地域での学び 課題研究・PBL・フィールドワーク

長野高校のポストSGHは、グローバル教育

グローバル+ローカル

グローバルな視点で長野の2030年を考える

NAGANO GLOBAL PROJECT

地域との協働による

高等学校教育改革推進事業（グローバル型）

長野県長野高等学校 「SDGs未来都市を創造するグローバルファシリテーターの育成」



② どのような人材を
育てたいのか

地域から世界へ
世界から地域へ貢献できる
グローバル人材

研究開発構想名

SDGs未来都市NAGANOを創造する
グローバルファシリテーターの育成

長野県「SDGs未来都市」計画（概要）

長野県企画振興部総合政策課

しあわせ信州創造プラン2.0
(長野県総合5か年計画 2018年度～)

<県の総合計画にSDGsの考え方がビルトイン>

- ✓概ね2030年の将来像を実現するための今後5年間の行動計画
- ✓SDGsの達成に寄与するもの

【長野県の特長】

- ・豊かな自然環境
- ・多様な個性を持つ地域
- ・自主自立の県民性
- ・全国トップレベルの健康長寿
- ・大都市圏からのアクセスの良さ

【基本目標】

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

「確かな暮らし」:「誰一人取り残さない」というSDGsの考え方にも呼応
「美しい」:豊かな自然や農山村の原風景などの美しさ

【2030年のめざす姿】

- ・学びの県
- ・産業の生産性が高い県
- ・人をひきつける快適な県
- ・いのちを守り育む県
- ・誰にでも居場所と出番がある県
- ・自治の力みなぎる県

持続可能な地域づくり

学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」

ステークホルダーが主体的に学び、協働しながら地域の課題解決に取り組み、多様な地域の個性を活かす自立・分散型社会をめざす。

<優先的に取り上げるゴール>



誰もが学べる環境づくり

- 信州こどもカフェの普及拡大
 - 学習支援や食事提供、悩み相談
 - 学用品リユース・冷暖房等の集約
 - 親の安定就労・将来の産業人材の育成・確保
- 信州・タウンキャンパス構想の実現
 - 現場やオンラインで時と場所を選ばない学びの提供
 - シニア大学での学びによる高齢者の起業促進
 - 県認定講座の実施による環境保全を担う人材の育成

地域内経済循環の促進

- エシカル消費の促進
 - 消費者のニーズに応じた農畜産物等を生産する「地消地産」の拡大
 - 輸送距離短縮による環境負荷低減
 - 就労の場確保による障がい者の活躍支援
- 再生可能エネルギー100%地域実現
 - 豊富な自然資源の有効活用
 - 地域外の化石資源への依存による資金流出防止
 - 環境エネルギー分野の産業創出による雇用確保

快適な健康長寿のまち・むらづくり

- 自家用車に頼らない地域づくり
 - 公共交通の活性化
 - 高齢者の生活の足の確保
 - CO2削減による気候変動リスク低減
- 省エネ建築による断熱性能向上促進
 - 省エネルギーの促進
 - ヒートショック防止による健康寿命の延伸
 - 地元建築業者の所得向上

豊富な自然エネルギー資源を活かしたエネルギー自立・分散型モデル地域の形成

- 地域の自発的な自然エネルギー普及
 - 付加価値の高い産業づくり
 - 中山間地域のコミュニティ維持
 - 低所得者・子どもの貧困対策
 - CO2削減による気候変動リスクの低減

推進体制 (庁内)知事をトップとする部局長会議で推進
(庁外)県、市町村、経済界、有識者等で構成するオール信州での推進体制を構築
・SDGs地域コンソーシアムで企業のSDGs活用支援手法を研究(関東経産局との連携)

軽井沢のG20
エネルギー・環境
関係閣僚会合等
での発信



G7軽井沢交通大臣会合(GO16)

本校が育てたいグローバルファシリテーター（抜粋）

- 長野県や長野市が持つ強みを理解し，地方創生への興味・関心，意欲を養う。
- レイヤー的思考，ブレイクスルー発想，国際的な対話力を育成する。
- 質の高い探究学習を可能にする情報収集能力・活用能力・発信力を身に付ける。
- コンソーシアムと共に，地域のSDGs達成への有効な政策提言ができる。
- 英語でのPBLを通じて，グローバル人材にふさわしいキャリア形成を行う。

③実践例の報告

～地域との協働による

教育プログラム開発～

長野高校 地域との協働実践例

2学年 スキル養成講座

5月21日、22日 総合的な学習の時間

2年次のグループ研究開始に伴い、生徒たちの設定課題を深めるため、社会人に授業に参加してもらい、フィールドワーク訪問先など相談する機会を持つ。

【第1部】(30分間) ミニレクチャー「NAGANOができること」

【第2部】(40分間) **データ活用講座**・フィールドワーク相談会(テレビ会議含む)

【第3部】(20分間) 班に持ち帰り共有(ディスカッション)

協力 東京海上日動グループ 金鶏会

工夫した点

①いいグループづくりのため一人一役

リーダー、サブ（異性）、書記、データ分析係

②探究プロセス設計

複数のフィールドワーク、台湾での発表、インタビュー
海外の都市との比較（英語キャリアプロジェクト）

③テレビ会議活用

東京にいる講師からのレクチャー及び相談会

東京海上日動（岩破幸平氏）とのやりとり

- 企画の相談 2月頃
- 企画の提示 4月中旬
- 講師として 当日



成果① 多角的な視点

・ 先生の話と私たちのテーマは異なっていましたが、「ある1つのことに特化して調べるのではなく関連するものを多く調べることが大切だ。」 「多く情報から使えそうなものを取る。」 「柔軟な考えで新しい考えを思いつく。」という言葉が心に残り、これからのNGPで大切にしていけばいいと分かった。

成果② 課題設定のヒント

- クリーンエネルギーの普及について質問してみると、自動車企業や住宅の企業、講師の先生が勤める保険会社もソーラーパネル普及の組織に関わっていると知った。「エネルギーだから工場関係」といった固定観念は調査を邪魔すると感じたし、より広い視点から見ると予想だにできなかった意見が出せて純粹に面白いと感じた。
- 海外支援や健康、自然、人といった立場から様々な意見をただけてとても参考になりました。FW先や班内でのテーマの指針などを決める一つの手がかりになったと思います。

長野高校 当面の地域との協働による取組

7月22日（月） フィールドワーク 全機関

首都圏フィールドワーク 東京海上日動

インタビュー実践 長野県 信州大学 APU*

8月～ プログラミング体験講座 信州大学

9月28日（土） **NAGANO英語プレゼン大会** 県立大学 信州大学

*APU…立命館アジア太平洋大学 昨年度連携協定締結

年間の開発計画表

図 カリキュラム開発計画表			
◎太字はコンソーシアムとの共同開発事業			
年度	1年	2年	3年
4月	プレストワークショップ SDGs講習会	1年次に続き 米国リーダー研修プログラム	
5月	ディスカッション講座	データ活用講座 探究プロセス設計講座 米国研修及びグローバルな学び報告会	探究学習・成果発表会
6月	SDGs国際会議 in NAGANO		最終ゴール
7月	インタビュー実践	遠隔インタビュー② 県内フィールドワーク 広域フィールドワーク ゴール1	英語論文
8月	SDGsワークショップ		
9月	NAGANO英語プレゼン大会		
10月	米国リーダー研修プログラム (選抜者)	SDGs課題研究発表会 ゴール2	進路研究
11月	フィールドワーク	SDGs国際会議 in 台湾 ゴール3 海外インタビュー ゴール4	
12月	外部発表会 (選抜者・希望者)		
1月			
2月	課題研究発表会	論文作成 4つのゴールの終着点	
3月	米国リーダー研修		
Programming for Project (希望者 プログラミング講座) - 1, 2年共通講座 8月～3月 - 3月に成果の発表			

3) 管理機関としての取組について



長野県教育委員会事務局
学びの改革支援課
高校教育指導係
長嶋 幸恵

「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」

1. 自ら立てた問いに対し、チームとして協働しながら解を見つけ、新しい価値を主体的に創造していくことができる資質・能力の育成
2. 信州に根ざした確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野、資質・能力の育成



しあわせ信州

具体的な施策（１）



しあわせ信州

1. すべての高校で、課程別に「3つの方針」（生徒育成方針、教育課程 編成・実施方針、生徒募集方針）を策定
2. 全県立高校で「信州学」（信州に根ざした「探究的な学び」の総称）を実施
3. 「信州つばさプロジェクト」高校生の海外留学・海外研修の促進のための事業の実施

具体的な施策（２）



しあわせ信州

4. グローカルな視野で「探究的な学び」を進めるために、「探究科」を県立高校 3 校に設置
5. 「未来の学校」高校改革研究校 6 校を指定
6. 「高大連携プロジェクト」として、PBL研修、グローバル講座を実施

長野高等学校への協力・支援



1. 人的支援

- 運営指導委員会
- 海外交流アドバイザー
- 地域協働学習実施支援員
- グローバル講師(ALT 1名に加え、経験豊富な外国人講師を県独自に1名雇用)

長野高等学校への協力・支援



しあわせ信州

2. コンソーシアムとの主体的な取組

- ・パイロット校会議の開催
- ・「探究的な学び」研究会の開催
- ・指定校取組の紹介
(教員、生徒の研究発表会の支援、メディア等
を活用した成果の普及)

長野県長野高等学校
地域との協働による教育改革推進事業（グローバル型）

ご清聴ありがとうございました。

グローバルな視点で長野の2030年を考える

NAGANO GLOBAL PROJECT